あなたも民主党に参加しませんか？

民主党の運営と活動を支え、ともに行動する

党員・サポーターを募集しています。

党員　年会費6,000円
サポーター　年会費2,000円

お申込み、お問い合わせはたけまさ事務所まで

国会見学会

3月22日(金)／4月24日(水)

参加費：無料
各日とも午前11時～午後2時
（現地集合、現地解散）
たけまさ公一からの国会報告も予定しています。
お申込み、お問い合わせはたけまさ事務所まで

岩槻・浦和・緑・見沼区で、たけまさ公一とともに より良い地域を実現します

民主党埼玉県第1区 地方議員並びに県政・市政担当者

浅野目　義英
県議・浦和区
昭和33年生まれ

民主党・無所属の会幹事長
議会運営委員会
次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

井上　將勝
県議・見沼区
昭和54年生まれ

民主党・無所属の会
福祉保健医療委員会
次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

神崎　功
市議・緑区
昭和30年生まれ

民主党さいたま市議団長
民主党埼玉県連副代表
総合政策委員会/予算委員会
議会改革推進委員会

原田　健太
市議・浦和区
昭和42年生まれ

民主党さいたま市議団
予算委員会／文教委員会
大都市行財政委員会委員長

高野　秀樹
市議・岩槻区
昭和35年生まれ

民主党さいたま市議団副団長
議運委員会
地下鉄7号線延伸事業化委員会

三神　尊志
市議・見沼区
昭和55年生まれ

民主党さいたま市議団
総合政策委員会副委員長
見沼田圃将来委員会/決算行政委員

小柳　嘉文
市議・浦和区
昭和40年生まれ

民主党さいたま市議団
見沼田圃将来ビジョン委員会
市民生活委員会／決算行政委員会

武田　和浩
市議・見沼区
昭和36年生まれ

民主党さいたま市議団
市民生活委員会
地下鉄7号線延伸事業化委員会

松岡　耕一
緑区・県政担当
昭和51年生まれ

民主党埼玉県第1区総支部
幹事

石田　昌生
緑区・市政担当
昭和35年生まれ

民主党埼玉県第1区総支部
幹事

たけまさ公一プロフィール

……昭和36年(1961年)生まれ
…さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業
……平成元年、松下政経塾卒業　平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選
……平成24年12月16日、衆議院議員5期目当選

【内　閣】前財務副大臣／元外務副大臣
【衆議院】財務金融委員会委員／憲法審査会会長代理／青少年問題特別委員会委員
【民主党本部】総務委員長／税制調査会副会長

たけまさ公一事務所

- 浦和事務所　さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階　TEL 048-832-3810　FAX 048-832-3846
- 岩槻事務所　さいたま市岩槻区本町5-5-12　TEL 048-749-6801　FAX 048-749-6802
- 国会事務所　千代田区永田町2-1-2第2議員会館312　TEL 03-3508-7062　FAX 03-3519-7715

皆様のご意見・ご要望をお待ちしております　メールアドレス　voice@takemasa-k.jp

民主 PRESS MINSHU

号外

埼玉県（第１区版）
平成25年3月18日発行

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-3595-9988（代表）
民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
TEL 048-833-3500　FAX 048-833-3503
URL http://minshu.org E-mail info@minshu.org

衆議院議員 たけまさ公一 国会レポート 第150号

■民主党2013年度定期大会／民主党埼玉県連定期大会 2月24日/3月9日

新綱領の下、「靴底減らし運動」の徹底により、党一丸となって民主党の再生に取り組んで参ります。

■衆議院憲法審査会……3月14日

いわゆる「3つの宿題」や96条改正について、憲法審査会会長代理（幹事）として議論を深めていきます。3月14日には日本国憲法1章2章についての自由討議も行われました。

■衆議院本会議における代表質問……3月14日

衆議院本会議において、所得税法改正案と民主党消費税影響緩和法案の趣旨説明ならびに質疑が行われ、武正公一代議士が質問に立ちました。

■平成25年度予算案

公共事業の総額は7.7兆円となり、民主党が編成した24年度予算に比べ1.7倍の急増、25年度のプライマリーバランスの赤字が33.9兆円に拡大。

weblog　アメブロ　http://ameblo.jp/takemasa-koichi/
web site　ウェブサイト　http://takemasa-k.jp/
twitter　ツイッター　@takemasakoichi
facebook　www.facebook.com/takemasatoday

■民主党2013年度定期大会/県連定期大会

2月24日/3月9日

2月24日に民主党定期大会が開催されました。
武正公一代議士が司会を務め、海江田代表からは、新綱領のもとに一致結束していくこと、「靴底を減らし、どぶ板を踏み、汗を流すことが必要」という「靴底減らし運動」を行っていくことなど民主党再生に向けての決意表明がされました。
その後、党綱領改定などの議案も承認されました。
生活者、納税者、消費者、働く者の立場に立ち、国民政党として再生し政権に再挑戦すること、また、国を守り国際社会の平和と繁栄に貢献することや、憲法の基本精神を具現化し国民とともに未来志向の憲法を構想していくことなどが新綱領の骨子となります。

3月9日には民主党埼玉県連定期大会が開催され、大島代議士を新県連代表に、元県連代表の武正公一代議士が県連代表代行に選出されました。
大島県連代表からも「地域密着での土着政党を目指す」として、民主党の再生に向けた決意が示されました。その後の質疑では代議員の皆様から貴重なご意見もいただきました。

今年は夏に参議院選挙も控えています。党一丸となって再生に全力で取り組んでいきます。

■衆議院憲法審査会……3月14日

武正代議士が会長代理（幹事）を務める衆議院憲法審査会において、いわゆる「3つの宿題」について協議が始まりました。
「3つの宿題」とは、
①18歳選挙権実現のための法整備
②公務員の政治的行為に係る法整備
③国民投票の対象拡大の検討について
です。既に成立している憲法改正国民投票法の附則で、必要な措置を講ずる必要があるものとされています。
幹事懇談会の場での「3つの宿題」や憲法審査会での現憲法の検証等について、党憲法調査会も含めて議論を深めていきます。
また、3月14日の衆議院憲法審査会においては、日本国憲法の1章(天皇)2章(戦争の放棄)についての自由討論が行われました。各党を代表して発言後、

委員が意見を述べ合う形式の中、民主党からは、2章を武正代議士が担当致しました。党による02年憲法調査会報告、04年創憲に向けて、中間提言、05年民主党憲法提言をふまえて説明を行いました。

■衆議院本会議における代表質問……3月14日

3月14日の衆議院本会議において、所得税法改正案と民主党消費税影響緩和法案の趣旨説明ならびに質疑が行われ、武正公一代議士が質問に立ちました。

①社会保障と税の一体改革が消費税先行で社会保障が抜け落ち、公共事業が変わって入ってしまったのではないか

②財政再建のための中期財政計画を6月までに示すべき

③消費税の逆進性対策として簡素な給付措置の具体策を詰めるべき

④消費税の総額表示方式の見直しについて

⑤消費税引き上げ時に中低所得者の住宅購入者への対策、住宅ローン減税の対象者ではない層への支援

⑥消費税引き上げ時の自動車購入者への対策

⑦民主党の要請により附則に盛り込まれた4項目の検討

⑧租税特別措置の適用実態調査結果に関する見解

特に②についての総理の答弁は、残念ながら今までの答弁の域を出ないものでしたので、引き続き委員会でただしていきます。

■平成25年度予算案

平成25年度予算案が閣議決定されました。
24年度補正予算と25年度予算案を合わて「15か月予算」を標榜していますが、公共事業の総額は7.7兆円となり、民主党が編成した24年度予算に比べ1.7倍の急増です。25年度予算案だけでも公共事業関係は15.6%の増加です。
これは民主党政権が設けた「一括交付金」を廃止し、中央省庁の公共事業費に割り当て、ひも付き補助金に逆戻りです。
また、平成25年度の国と地方の基礎的財政収支（プライマリーバランス）の赤字額について、国際公約の指標であるSNA（国民経済計算）ベースで、民主党政権時代の24年8月時点では25.4兆円と試算されていましたが、政府は33.9兆円に拡大することを明らかにしました。緊急経済対策で公共事業費を増額し、赤字額が大幅に増えた結果です。